

法勝寺中学校だより

特 別 号 2024.10.10

令和 6 年度

全国学力・学習状況調査結果

※R6. 4. 18 に全国の小学 6 年生と中学 3 年生を対象に実施したものです。

生徒の学習状況の改善や、家庭教育との連携、教科指導の充実などに役立てるため全国の中学 3 年生を対象に『全国学力・学習状況調査』が実施されました。本年度は国語・数学の筆記試験と生活の状況等についての調査がありました。その結果から、本校生徒の状況について特徴的な傾向を紹介し、今取り組んでいること、家庭と連携したいことを報告します。

法勝寺中学校生徒の「学力・生活の状況」

学力の状況

国語	言葉の特徴や使い 方に関する事項	情報の扱い方 に関する事項	我が国の言語文 化に関する事項	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	全体
本 校	55.8%	55.5%	74.5%	57.6%	64.5%	50.0%	57.0%
県	56.7%	58.6%	79.8%	56.1%	64.3%	46.2%	57.0%
全 国	59.2%	59.6%	75.6%	58.8%	65.3%	47.9%	58.1%

数学	数と式	図形	関数	データの活用	全体
本 校	49.1%	43.0%	61.4%	55.9%	53.0%
県	47.4%	37.3%	58.6%	54.9%	50.0%
全 国	51.1%	40.3%	60.7%	55.5%	52.5%

問題の傾向としては、実際に社会の中で「生きる力」を測る問題が多く出題されています。各教科共に問題数は少ないですが、内容を的確に読み取り出題者の意図をくみ取った上で、適切な用語を用いて表現する力を求める問題が出題されています。

【家庭でお願いしたいこと】

3 年生生徒のご家庭には、学力調査結果の個人票を、10 月 9 日（水）第 6 回学力診断テストの成績表と一緒に来週、お返しします。調査の結果と今後の取り組みを合わせてご覧いただき、家庭学習の参考としていただきますようお願いいたします。また、学習習慣やメディア利用の時間などについて話し合ってください、より良い生活習慣を身につけ、家庭学習がさらに充実していくようにアドバイスや励ましの言葉をお願いします。

生活の状況

良好と思われる質問事項		肯定的な回答%			
		本校 3年	鳥取県	全国	全国と の比較
主に生活に 関すること	(1) 学級活動における学級での話し合いを生かして、今自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。	86.2	85.5	80.6	+5.6
	(2) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	94.9	92.3	90.4	+4.5
	(3) 将来の夢や目標を持っていますか	70.7	66.5	66.3	+4.4
	(4) 学校に行くのは楽しいと思いますか	86.2	82.9	83.8	+2.4
	(5) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか	96.6	95.3	95.2	+1.4
	(6) 人が困っているときは、進んで助けていますか	91.4	88.8	90.1	+1.3
主に学習に 関すること	(1) 1・2年のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか	91.3	78.2	64.4	+26.9
	(2) 数学の勉強は好きですか	72.4	56.7	57.2	+15.2
	(3) 数学の授業の内容はよく分かりますか	87.9	71.4	75.7	+12.2
	(4) 1・2年のときに受けた授業では、英語を聞いて概要や要点を捉える活動が行われていたと思いますか。	93.1	83.7	83.3	+9.8
	(5) 国語の授業で、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈していますか	86.2	83.2	82.0	+4.2

全国（県）平均より低い質問事項		肯定的な回答%			
		本校 3年	鳥取県	全国	全国と の比較
主に生活に 関すること	(1) あなたの家には、およそどのくらいの本がありますか	24.1	38.7	39.6	-15.5
	(2) 健康ですぐすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか	65.5	75.1	76.7	-11.2
	(3) 自分には、よいところがあると思いますか	77.6	82.7	83.3	-5.7
	(4) 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	70.7	75.3	76.2	-5.5
	(5) 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	75.8	84.2	80.7	-4.9
主に学習に 関すること	(1) 1・2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらいあてはまりますか。友達と協力しながら学習を進めることができる	65.5	88.8	85.2	-19.7
	(2) 1・2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	58.6	77.4	75.4	-16.8
	(3) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（注一学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	15.5	23.4	31.7	-16.2
	(4) 数学の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか	32.7	47.8	46.0	-13.3
	(5) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（注は3と同じ）	5.1	11.9	15.5	-10.4

質問調査の結果から見えてくること

【生活について】

- 学級での話し合いを生かして、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる生徒が多いことがわかります。
- 教員からの承認感を感じている生徒が県や全国と比較して多いことがわかります。
- 将来の夢や目標を持っている生徒が多いことがわかります。
- 学校に行くのは楽しいと感じている生徒が多いことがわかります。
- 県や全国と比較して、健康のために学んだことを普段の生活に役立てている生徒が少ないことがわかります。
- 県や全国と比較して、自己肯定感を持っている生徒が少ないことがわかります。
- 寝る時間が決まっているという回答が県や全国と比較して低いことがわかります。

【学習について】

- 国語、数学とも多くの生徒は学習の大切さをよく理解しています。
- 学習を計画的に進めることができる生徒が県や全国と比較して少ないようです。家庭学習が少ない傾向が見られます。1日あたり1時間未満の生徒が全国平均35.4%に対し、本校で43.1%です。家庭での予習・復習が少ないことがわかります。
- 1・2年のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器の使用頻度は、県や全国と比較してかなり高いことがうかがえます。しかし、友達と協力しながら学習を進めることができたと感じている生徒は少ないことがわかります。

【これから取り組んでほしいこと】

- 計画的に家庭学習(予習・復習)に取り組みましょう。
- テストへの取り組みを通して、家庭学習の習慣を身につけ、テスト後は、なぜ間違えたのか、この問題は何を知らないとできなかったのかなど、復習に力を入れましょう。
- 友達に説明できると理解力がUPします。授業中の学び合いの時間、その前の一人学びの時間を大切にしましょう。

今後に向けて

- 将来の目標を持ち、学ぶことの意義や必要性、楽しさを感じられると、取り組む姿勢もさらに向上し、学力も伸びると考えます。学習指導とともに、キャリア教育も充実させ、一人ひとりが将来を見据えた学校生活を送れるよう、丁寧な指導を心がけていきたいと考えます。また、生徒一人ひとりの良さ・頑張りを認め、褒め励ます指導を継続していきます。
- 保護者の方、地域の方との適切な関係が保たれていることが推測できる結果でした。今後も学校、地域、保護者が一体となって子どもたちの成長を見守っていかれたらと思います。

国語部会より

「思考力、判断力、表現力等」では「書くこと」「話すこと・聞くこと」は全国平均正答率とほぼ同等です。「読むこと」は2.1ポイント上回りました。

「知識及び技能」では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱いに関する事項」とともに、全国平均正答率から3.4～4.1ポイント下回っています。

問題形式別にみると、「記述式」の問題に課題が見られます。無解答率が全国平均、県平均ともに上回ります。

今後の取り組みとして、漢字の読み書きや表現技法といった基礎的・基本的な知識の定着にゆりみが見られるため、授業や定期テストなどでのこまめな復習・確認が必要だと考えます。

また、「話し合いで発言する際」「物語を書く際の下書き」など、学習場面が具体的に設定された設問に対する正答率が高いことから、授業で主体的に言語活動に取り組むことは十分有効であるとも考えられます。

要約や「表現を工夫して書く」などの「書く活動」の機会を確保して、多様な書く学習（視点を変える、目的に応じて書き換えるなど）、一定の基準（字数や条件）を満たすような書く学習に取り組み、誰もが自分の考えを表現できるよう、力を伸ばしていきます。

- ②四 本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する問題
(全国正答率 42,6% 本校正答率 38,2% 無解答率 9,1%)
- ③四 表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する問題
(全国正答率 49,3% 本校正答率 45,5% 無解答率 18,2%)
- ④一 短歌に用いられている表現の技法を説明したものとして適切なものを選択する問題
(全国正答率 54,9% 本校正答率 43,6%)

四 本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約します。次のア、イから一つ選んで（どちらを選んでもかまいません。）要約しなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

ア 筆者が、葉の形を表す言葉をどのようなグループに分け、各グループにどのような特徴があると述べているかについて、
イ 筆者が、数学や物理学などと生物学とでは、学問としてどのような違いがあると述べているかについて。

一 Bの短歌で用いられている表現の技法を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 「風さやか」の部分に、擬人法が用いられている。
- 2 「庭に月待つ」の部分に、直喩が用いられている。
- 3 「萩すすき」の部分に、倒置が用いられている。
- 4 「朔の声やみし夕暮れ」の部分に、体言止めが用いられている。

四 佐藤さんは、「物語の下書き」の□の部分で、「フートの一部」の④の場面の「僕」の心情を伝えて物語を終えようとしています。あなたなら、どのように工夫して書きますか。次のア、イについて、それぞれの指示にしたがって書きなさい。
なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

ア 「あの日から数日が過ぎた。」に続けて、表現を工夫して書きなさい。

イ あなたがアで書いた表現には、どのような効果があるのかを具体的に書きなさい。

数学部会より

全体の平均正答率は全国平均正答率よりも 0.5 ポイント高く、全国平均とほぼ同程度の正答率となっています。全4領域中、「図形」、「関数」、「データの活用」の3つの領域が 0.4～2.7 ポイント程全国値を上回っており、鳥取県公立校のデータと比較すると、すべての領域で県平均値を上回っています。また、「知識・技能」の観点の問題、選択式の問題の正答率は全国値を超えており、生徒たちが着実に力をつけてきている様子がうかがえます。

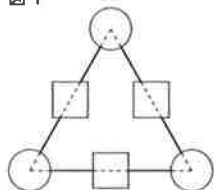
「数と式」の領域が全国値と比較して2ポイント低くなっています。また、「思考・判断・表現」の観点の問題、「短答式」及び「記述式」の問題の正答率についても、わずかに全国値を下回っています。

全国値と比較して、正答率に差が大きかった問題は下に示している問いでした。統合的・発展的に考え、成り立つ事柄を見出し、数学的な表現を説明することができるかどうかをみるための出題で、「数と式」の領域、「思考・判断・表現」の観点、記述式の問題でした。長い文章を的確に読解する力や、自分の考えを数学的に表現していく力が必要となります。

今回の調査結果から、今後の学習の中で、読解力や数学的な表現力を高めていくことが大切だと分析することができます。

- 6** 次の図1は、正三角形の3つの頂点に○を、3つの辺に□をかいたものです。○には整数を1つずつ入れ、□にはその□がかかっている辺の両端の○に入れた整数の和が入ります。

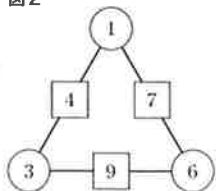
図1



計算の例

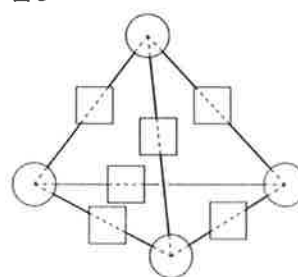
3つの○に1、3、6を入れると
3つの□にはそれぞれ
 $1+3$ 、 $3+6$ 、 $6+1$
の計算結果が入る。
だから、3つの□には4、9、7
が入る。

図2



- (3) 優真さんは、正三角形を正四面体に変えても、各頂点の○に入れた整数の和と各辺の□に入る整数の和の間には何か関係があるのではないかと思います。正四面体の図をかいて考えてみることにしました。次の図5は、正四面体の図の各頂点に○を、各辺に□をかいたものです。

図5



このとき、○に入れた整数の和と□に入る整数の和について、どのようなことが予想できますか。前ページの予想のように、「～は、……になる。」という形で書きなさい。